

子どもがワクワクする祭典

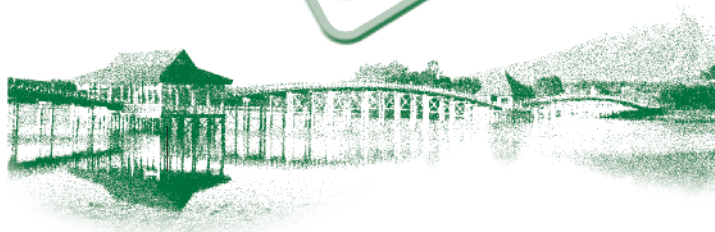
11月3日（日）、「子どもの祭典」が町保健福祉センター「鶴遊館」で開催され、町内の子ども約160人が参加しました。

祭典では、鶴田町ジュニアリーダーズクラブ「HIZURU」によるゲーム大会、その他豪華賞品が当たるビンゴ大会も開催され、子どもたちを楽しませました。お昼には、各町内会の子ども会や地域の方々が協力して、おでんやたこ焼き、棒パンなどの食べ物やくじなどの出店を開き、子どもたちは大喜びでした。

また、この日は「早寝早起き朝ごはん全国協議会」のキャラバン隊によるパフォーマンスが行われ、早寝早起き朝ごはんの重要性を歌や踊りを通して伝えてくれました。会場は笑顔と笑いに包まれていました。



△キャラバン隊と一緒に踊る子どもたち



あなたの地区の楽しい催しや出来事などがありましたら、役場企画観光課まちづくり班（内線262）までお知らせください。

小学生が保安橋架替工事を見学

10月31日（木）、菖蒲川小学校・富士見小学校の4・5・6年生が鶴田町野木地区～菖蒲川地区の保安橋架け替え工事現場を見学しました。

岩木川中流域鶴田地区は、川幅が狭く流下能力が不足のため川幅の拡張が必要であり、保安橋の架け替えが行われています。保安橋架け替え工事を見学した子どもたちは保安橋ができるまでを学び、建設業の大変さや日常生活における重要性を学んでいました。

新たな保安橋は歩道が今までよりも広くなり、機能が充実したより便利な橋に生まれ変わります。



△保安橋の架け替え工事を見学をする子どもたち

子どもたちへリンゴを提供

11月15日（金）、つがるにしきた農業協同組合水元支店において、町みどりの会（工藤大弥会長）から、町へ給食用リンゴが贈呈されました。リンゴの贈呈は毎年行われており、今年は38箱分のリンゴが贈呈され、25日（月）から管内小中学校の給食で提供されました。

リンゴを受け取った中野雄臣教育長は、「丹精込めて作ったリンゴを今年も提供していただいて本当にありがとうございます。子どもたちも給食にリンゴが付くのを楽しみにしています」と感謝を述べました。工藤会長は、「今年は品質・味ともに最高の出来なので、子どもたちにはすぐに食べて欲しいです」と笑顔で話していました。



△みどりの会会員と中野教育長（前列右）

45年ぶりの優勝を勝ち取る

11月19日（火）、県秋季バスケットボール大会で優勝し、来年1月に秋田県横手市で行われる東北大会に出場する鶴田中学校女子バスケットボール部が、町役場を訪れ相川町長に出場報告を行いました。

女子の部での県秋季大会優勝は45年ぶりであり、相川町長は「皆さんの力なら東北大会でも優勝できているので、実力を発揮して頑張ってください」と激励していました。

齋藤和さんは、「キャプテンとして自分から声を出していき、チームを引っ張っていきます。また、練習の成果を十分に発揮してチーム一丸となって勝っていきたいです」と抱負を述べました。



△東北大会への意気込み十分な選手たち

50年の結婚生活をお祝い

11月22日（金）、町国際交流会館で令和元年度の金婚式が開かれ、町内に住む夫婦20組が出席し、結婚50年の節目を祝いました。

式では、相川町長が「50年という長い歳月を共に歩んでこられた皆さまへ心よりお祝いを申し上げます。これからも健康で長生きをして、充実した人生を過ごしてほしい」とあいさつした後、出席した夫婦へ顕彰状と、茶わんと湯飲みの睦揃えを贈りました。

顕彰者代表で、妻のユリ子さんと謝辞を述べた石村昌さんは「50年の間、困難はあったが、夫婦二人三脚で歩んできた。周囲の方々の支えには感謝しかありません」と話していました。



△出席したご夫婦に顕彰状と記念品を贈呈